

平成 26 年 2 月 14 日

先端医療振興財団と神戸学院大学とが 包括的連携協定を結びました。

当財団と神戸学院大学が、教育・研究活動や社会貢献など幅広い分野にわたる包括的な連携協定を結ぶことになり、当財団の平田結喜緒病院長と同大学の岡田豊基学長が 14 日、同大学のポートアイランドキャンパスで協定書に調印しました。当財団が包括的に大学と連携協定を結ぶのは初めてです。

神戸学院大学とは、学生の実習受入や共同臨床研究を行うなど、これまでも様々な連携を行っていましたが、この協定によって、更に積極的な人材交流が進められ、広範な領域での連携が期待されます。



午後 1 時 30 分から行われた調印式には、神戸学院大学から岡田学長のほか、塩出省吾副学長、福島昭二薬学部教授、松本史朗事務局長、難波一安総務部長が、当財団からは平田病院長のほか片上信之副院長、久戸瀬修次常務理事、岡田裕薬剤科長、松本伸一総務課長が出席。冒頭、岡田学長は「これまでもポートアイランド内の各機関と連携を図ってきたが、財団とのパイプを強くしていきたい。研究のみならず教育上の指導もお願いしたい。」とあいさつ。これに対し、平田病院長は「これまでも薬学部の学生の実習の受け入れなど神戸学院大学とは連携を図ってきたが、この協定をきっかけに、より広範に連携を強めていき、ポートアイランド内におけるヘルスサイエンスの発展につなげていきたい。」とあいさつしました。

(写真は、調印式を終えた岡田学長と平田病院長ら)